

# 事業評価調書

## ◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	23695
事業名	児童虐待防止対策費					
評価担当課	所属名	子)児童相談所 地域連携課				
	課長名	山形	担当者名	中村、竹重	電話番号	011-622-8620
施策名	主	子ども・若者を社会全体で育成・支援する環境づくり				
	副					
アクションプラン	● 対象 ○ 対象外		戦略ビジョン	● 対象 ○ 対象外		
事業の性質	○ 経常経費 ● 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	同上			
		長期	①一般市民への普及啓発を継続的に推進し、虐待の防止及び早期発見につなげる ②休日等も含めた虐待通告に対する迅速に対応していく。 ③児童及び保護者等の心理的ケアを実施し、虐待の再発防止等に努める。			
	取組内容	①児童虐待防止の広報啓発 講演会や研修会を実施し一般市民に対する普及啓発をするほか、関係機関に児童虐待防止ハンドブックを配布し、児童虐待の早期発見、対応についての連携を強める。 ②休日夜間の児童虐待通告等に関する初期調査業務 休日及び夜間の虐待通告等に迅速に対応する。 ③被虐待児やその保護者への心理的ケア等の実施				
実施結果	専門性の高い民間業者との連携や専門知識を有する非常勤職員の配置などにより、効果的に事業を進めている。					
事業実施における工夫点	札幌市民に幅広く児童虐待防止を啓発。 啓発イベントの開催、地下鉄広告の掲載。 医療機関向け研修の実施。					
対象者	児童及びその保護者、関係機関	開始	0 年度	終了	0 年度	
関連法令・条例・要綱等	児童福祉法、児童虐待の防止等に関する法律					
他都市の状況	児童相談所が設置されている都道府県及び政令市はいずれも児童虐待防止の普及啓発事業を実施している。休日夜間の初期調査を委託している自治体は少ない。					

## ◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	24,757	55,427	58,285	37,000	
うち特定財源	15,364	17,731	20,797	12,000	
人工	0.6	0.6	0.6	0.6	
人件費	4,320	4,320	4,320	4,320	
計(事業費+人件費)	29,077	59,747	62,605	41,320	
事業費の内訳	令和3年度決算	①初期対応業務 4,792千円 ②児相における夜間休日対応体制強化(休日・夜間児童虐待対応支援員(7人)人件費)21,590千円 ③普及啓発 5,320千円 その他:26,583千円(令和4年度予算から児童虐待防止対策事務費(38794)に計上分)			
	令和4年度予算	①初期対応業務 4,858千円 ②児相における夜間休日対応体制強化(休日・夜間児童虐待対応支援員(8人)人件費)26,258千円 ③普及啓発 5,884千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	虐待通告件数(参考)			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	2078		1845		
活動指標2	指標名	オレンジリボン地域協力員登録数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	17800	18500	18006	19200	
成果指標1	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	オレンジリボン地域協力員の登録件数は18,000人を超え、市民の児童虐待防止への関心は引き続き高まっていると考える。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	児童虐待防止の普及啓発の対象は一般市民の他関係機関も想定して実施しており、対象は適切と考える。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	令和3年度は新型コロナウイルス感染症が継続していたが、一般市民向けの講演会や研修会をオンラインを取り入れて実施した。 また、関係機関向けには、児童虐待の対応や関係機関連携の重要性についてまとめたハンドブックのダイジェスト版を小中学校や保育所等に配布した。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに応えているか)	A	令和3年度は新型コロナウイルス感染症が継続している中ではあるが、児童虐待防止に係る出前講座は一定程度開催できており、ニーズには一定程度応えられたものと考えている。			
市民参加の実施	<input type="checkbox"/> 企画 <input type="checkbox"/> 実施 <input type="checkbox"/> 評価 <input checked="" type="checkbox"/> 対象外		市民参加結果への対応	<input type="checkbox"/> 回答 <input type="checkbox"/> 反映	
今後の改善点	児童虐待防止について社会全般に広く関心を高めていくためには、民間団体と連携する形で普及啓発業務を行う必要がある。				
前回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	新型コロナウイルス感染症の状況によらず、出前講座を実施できるようオンライン形式での実施を進めた。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A    ○ B    ○ C    ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	新型コロナウイルス感染症の状況は継続しているが、積極的に出前講座をはじめとした普及啓発業務を進めることで、昨年度を上回るペースでオレンジリボン地域協力員の登録件数が増加している。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	● 改善    ○ 現状維持    ○ 休止・廃止 普及啓発活動について、民間団体と連携する形で普及啓発業務を行う必要がある。			
	予算	○ 拡充    ● 現状維持    ○ 縮小    ○ その他 事業内容の工夫により、予算規模を維持しながら、より効果的な普及啓発事業を実施していく。		見直し効果額	0